

憲法しんぶん速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

第216号

2008年12月10日

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
HPサイト <http://www.kenpoukaigi.gr.jp/>

Tel 03-3261-9007
Fax 03-3261-5453

田母神前空幕長問題緊急シンポジウム

政治と結んで歴史認識、自衛隊の実態を深く解明！



憲法会議、安保中央実行委員会、平和委員会は十二月八日、都内で田母神前空幕長問題の緊急シンポジウムを共催しました。

11日委員会採決 12日(衆)本会議再可決も

参議院外交防衛委員会の理事懇は、田母神問題の視察・集中質疑、締め括り質疑と採決の順序を巡り、与党はあくまでも締め括り質疑・採決を主張、与野党が対立していました。10日2時からの理事懇で11日（木曜日）の委員会は、委員長職権で看板を立てて6時間コース。

緊急傍聴・議面行動

- 12月11日（木）
- 9時30分～傍聴行動
- 12時15分～議面集会
- いずれも（参）議面集合

主催：憲法会議・安保・大運動

「新テロ特」をめぐって緊迫

シンポには160人が参加、「恐るべき幹部教育の実態と政府の責任」と題して、井上哲士・日本共産党参議院議員が、「田母神歴史観の誤りと重大な危険」を石山久男憲法会議代表幹事が報告、内藤功、日本平和委員会代表理事が「自衛隊の危険な実態と野望」について、特別発言を行いました。その後の質疑討論では、取り組み、実態の交流を含めて、問題の本質と危険性が深く解明されました。尚、柴田全労連副議長が開会あいさつ、憲法会議の川村代表幹事が閉会あいさつを行いました。